

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月13日

【四半期会計期間】 第107期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 東亜道路工業株式会社

【英訳名】 TOA ROAD CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大西義嗣

【本店の所在の場所】 東京都港区六本木7丁目3番7号

【電話番号】 03(3405)1811(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 野田雅之

【最寄りの連絡場所】 東京都港区六本木7丁目3番7号

【電話番号】 03(3405)1811(代表)

【事務連絡者氏名】 経理課長 大岡延行

【縦覧に供する場所】 東亜道路工業株式会社 関西支社
(大阪市浪速区元町1丁目4番17号)

東亜道路工業株式会社 中部支社
(名古屋市東区白壁1丁目45番地)

東亜道路工業株式会社 横浜支店
(横浜市南区中村町5丁目318番地)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 会計期間 | 第106期 第1四半期 連結累計期間 | | 第107期 第1四半期 連結累計期間 | | 第106期 | |
|--|--------------------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|--------|-------------------------|
| | 自 至 | 平成23年4月1日 平成23年6月30日 | 自 至 | 平成24年4月1日 平成24年6月30日 | 自 至 | 平成23年4月1日 平成24年3月31日 |
| 売上高 (百万円) | | 15,361 | | 14,912 | | 103,156 |
| 経常利益又は経常損失() (百万円) | | 918 | | 521 | | 2,330 |
| 四半期純損失() 又は当期純利益 (百万円) | | 609 | | 354 | | 1,853 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | | 676 | | 491 | | 2,272 |
| 純資産額 (百万円) | | 18,267 | | 20,655 | | 21,394 |
| 総資産額 (百万円) | | 61,839 | | 63,501 | | 73,551 |
| 1株当たり四半期純損失金額 ()又は1株当たり当期純利益 金額 (円) | | 12.56 | | 7.20 | | 38.12 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | | - | | - | | - |
| 自己資本比率 (%) | | 29.1 | | 31.9 | | 28.6 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に緩やかな回復傾向にありますが、欧州の財政危機や円高基調の継続により、先行きの不透明な状況にあります。

当社グループの主要事業であります道路建設業界におきましては、震災復興に関連した受注があるものの、その他の地域の公共事業は依然として減少傾向にあり、経営環境は引続き厳しい状況のもと推移いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループの当第1四半期連結累計期間における受注高は、23,492百万円（前年同四半期連結累計期間比17.9%増加）となり、売上高は14,912百万円（前年同四半期累計期間比2.9%減少）となりました。

損益につきまして、営業損失は499百万円（前年同四半期連結累計期間、営業損失857百万円）、経常損失は521百万円（前年同四半期連結累計期間、経常損失918百万円）、四半期純損失は354百万円（前年同四半期連結累計期間、四半期純損失609百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

建設事業

公共事業の減少が進むなか、受注高は16,322百万円（前年同四半期連結累計期間比21.4%増加）となりました。完成工事高は、7,741百万円（前年同四半期連結累計期間比12.8%減少）となり、営業損失は420百万円（前年同四半期連結累計期間、営業損失683百万円）となりました。

建設材料等の製造販売・環境事業等

当第1四半期売上高は7,170百万円（前年同四半期連結累計期間比10.6%増加）、営業利益は270百万円（前年同四半期連結累計期間、営業利益162百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、未成工事支出金等の増加はあったものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少等により、前連結会計年度末に比べ10,050百万円減少し、63,501百万円となりました。

また負債につきましては、未成工事受入金等は増加いたしましたが、支払手形・工事未払金等の減少、長期・短期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ9,310百万円減少し、42,846百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ739百万円減少し、20,655百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は54百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 191,042,000 |
| 計 | 191,042,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日) | 提出日現在 発行数(株) (平成24年8月13日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|------------------------|
| 普通株式 | 52,200,239 | 同左 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数は1,000株であり ます。 |
| 計 | 52,200,239 | 同左 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成24年4月1日～ 平成24年6月30日 | - | 52,200 | - | 7,584 | - | 5,619 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------------------|----------|------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 1,423,000 | | |
| | (相互保有株式) 普通株式 1,503,000 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 48,616,000 | 48,616 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 658,239 | | 一単元(1,000株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 52,200,239 | | |
| 総株主の議決権 | | 48,616 | |

(注) 1 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式114株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」及び「単元未満株式」の中には、証券保管振替機構名義の株式が、それぞれ1,000株(議決権1個)及び200株含まれております。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------------------|---------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 東亜道路工業株式会社 | 東京都港区六本木7-3-7 | 1,423,000 | | 1,423,000 | 2.72 |
| (相互保有株式) 若葉建設株式会社 | 宮城県仙台市若林区卸町東 5-2-23 | 870,000 | | 870,000 | 1.66 |
| (相互保有株式) 富士建設株式会社 | 北海道室蘭市中央町3-5-13 明治生命ビル | 333,000 | | 333,000 | 0.63 |
| (相互保有株式) 株式会社 東亜利根ボーリング | 東京都港区六本木7-3-7 | 300,000 | | 300,000 | 0.57 |
| 計 | | 2,926,000 | | 2,926,000 | 5.60 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 10,740 | 11,315 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 2, 3 33,572 | 2, 3 19,580 |
| 未成工事支出金 | 3,499 | 7,544 |
| 販売用不動産 | 32 | 17 |
| 商品及び製品 | 775 | 732 |
| 仕掛品 | 268 | 224 |
| 材料貯蔵品 | 1,051 | 930 |
| 繰延税金資産 | 449 | 768 |
| その他 | 2,253 | 1,595 |
| 貸倒引当金 | 366 | 263 |
| 流動資産合計 | 52,277 | 42,445 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物・構築物（純額） | 2,694 | 2,656 |
| 機械・運搬具（純額） | 1,646 | 1,623 |
| 土地 | 12,816 | 12,815 |
| リース資産（純額） | 608 | 579 |
| 建設仮勘定 | 6 | 71 |
| その他（純額） | 143 | 143 |
| 有形固定資産合計 | 17,916 | 17,889 |
| 無形固定資産 | | |
| | 124 | 131 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,239 | 1,049 |
| 長期貸付金 | 1,388 | 1,358 |
| 繰延税金資産 | 773 | 802 |
| その他 | 808 | 748 |
| 貸倒引当金 | 977 | 924 |
| 投資その他の資産合計 | 3,233 | 3,034 |
| 固定資産合計 | 21,274 | 21,055 |
| 資産合計 | 73,551 | 63,501 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 3 26,997 | 3 19,387 |
| 短期借入金 | 10,180 | 7,887 |
| 1年内償還予定の社債 | 582 | 582 |
| 未払法人税等 | 719 | 174 |
| 未成工事受入金 | 2,512 | 4,727 |
| 完成工事補償引当金 | 110 | 69 |
| 工事損失引当金 | 240 | 279 |
| 事業整理損失引当金 | 70 | 45 |
| その他 | 2,456 | 1,920 |
| 流動負債合計 | 43,870 | 35,074 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 839 | 839 |
| 長期借入金 | 4,215 | 3,765 |
| 繰延税金負債 | 89 | 59 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,286 | 1,286 |
| 退職給付引当金 | 958 | 959 |
| 債務保証損失引当金 | 16 | 13 |
| 資産除去債務 | 76 | 76 |
| その他 | 804 | 770 |
| 固定負債合計 | 8,286 | 7,771 |
| 負債合計 | 52,157 | 42,846 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,584 | 7,584 |
| 資本剰余金 | 6,904 | 6,904 |
| 利益剰余金 | 6,340 | 5,739 |
| 自己株式 | 701 | 702 |
| 株主資本合計 | 20,128 | 19,526 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 298 | 166 |
| 土地再評価差額金 | 592 | 592 |
| その他の包括利益累計額合計 | 890 | 759 |
| 少数株主持分 | 374 | 369 |
| 純資産合計 | 21,394 | 20,655 |
| 負債純資産合計 | 73,551 | 63,501 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 15,361 | 14,912 |
| 売上原価 | 14,658 | 13,908 |
| 売上総利益 | 703 | 1,003 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,561 | 1,502 |
| 営業損失() | 857 | 499 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 7 |
| 受取配当金 | 8 | 10 |
| 持分法による投資利益 | - | 0 |
| その他 | 17 | 33 |
| 営業外収益合計 | 33 | 51 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 70 | 56 |
| 持分法による投資損失 | 0 | - |
| その他 | 23 | 17 |
| 営業外費用合計 | 94 | 73 |
| 経常損失() | 918 | 521 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 6 | 4 |
| 債務保証損失引当金戻入額 | 3 | - |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 | - |
| その他 | 0 | - |
| 特別利益合計 | 11 | 4 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 5 | 1 |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | 1 | - |
| その他 | 0 | - |
| 特別損失合計 | 7 | 2 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 914 | 519 |
| 法人税等 | 295 | 159 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 618 | 360 |
| 少数株主損失() | 9 | 5 |
| 四半期純損失() | 609 | 354 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 618 | 360 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 57 | 131 |
| その他の包括利益合計 | 57 | 131 |
| 四半期包括利益 | 676 | 491 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 667 | 486 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 9 | 5 |

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ1百万円減少しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結子会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し債務保証を行っております。

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|-----------|-------------------------|------------------------------|
| (株)IWD | 112百万円 | 112百万円 |
| 興亜建設工業(株) | 142百万円 | 136百万円 |
| その他 | 17百万円 | 16百万円 |
| 従業員 | 8百万円 | 7百万円 |
| 計 | 281百万円 | 271百万円 |

2 受取手形裏書譲渡高

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|-----------|-------------------------|------------------------------|
| 受取手形裏書譲渡高 | 40百万円 | 32百万円 |

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|------|-------------------------|------------------------------|
| 受取手形 | 262百万円 | 365百万円 |
| 支払手形 | 331百万円 | 226百万円 |

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

当社グループの売上高は、主たる事業である建設事業において、契約により工事の完成引渡し第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間における売上高に比べ、第4四半期連結会計期間の売上高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 294百万円 | 264百万円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 152 | 3 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月30日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 253 | 5 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月29日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | |
|-----------------------|---------|------------|--------|
| | 建設事業 | 製造販売・環境事業等 | 計 |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,878 | 6,483 | 15,361 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 5 | 168 | 173 |
| 計 | 8,883 | 6,651 | 15,535 |
| セグメント利益又は損失() | 683 | 162 | 520 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----|
| 報告セグメント計 | 520 |
| セグメント間取引消去 | 14 |
| 全社費用(注) | 352 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失 | 857 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | |
|-----------------------|---------|------------|--------|
| | 建設事業 | 製造販売・環境事業等 | 計 |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,741 | 7,170 | 14,912 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 5 | 216 | 221 |
| 計 | 7,746 | 7,386 | 15,133 |
| セグメント利益又は損失() | 420 | 270 | 150 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----|
| 報告セグメント計 | 150 |
| セグメント間取引消去 | 1 |
| 全社費用(注) | 349 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失 | 499 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「建設事業」のセグメント損失が1百万円減少し、「製品販売・環境事業等」のセグメント利益が0百万円増加しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

| 項目 | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|----------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額 | 12円56銭 | 7円20銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純損失金額(百万円) | 609 | 354 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | | |
| 普通株式に係る四半期純損失金額(百万円) | 609 | 354 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 48,545 | 49,271 |

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

東亜道路工業株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川 井 克 之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 島 村 哲 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原 秀 敬 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東亜道路工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東亜道路工業株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。